

渋 Pay 1% 応援金を活用して

「魅力ある学校づくり」を支援しています

市は、しづかわ電子地域通貨「渋 Pay^{ペイ}」で決済額の1%を加盟店に負担いただき(渋 Pay 1% 応援金)、その資金を、児童生徒の意見を参考にした魅力ある学校づくりに活用しています。今号では、前号での紹介に続き、2校の活用状況と小学校全体での活用状況をお知らせします。

詳しくは、[☎学校教育課\(☎2121\)](mailto:shizuoka@2121)へ。

渋 Pay 1% 応援金は、多くの市民と加盟店の協力により、令和4年度は2,704,880円を、令和5年度は12,284,986円を基金に積み立てることができました。基金は子どもたちのための事業に使われます。

渋 Pay の利用で、市内の子どもたちへの支援につながります。加盟店で買い物をするときは、ぜひ、渋 Pay の利用を検討してください。

小学校の活用状況(令和6年12月時点)

学校名	購入物品
渋川北小学校	配膳台
渋川南小学校	フレキシブルハードル など
金島小学校	デジタル生物顕微鏡 など
古巻小学校	デジタルカメラ
豊秋小学校	陸上競技用セーフティマット など
渋川西小学校	プールサイドマット など
伊香保小学校	A I 通訳機 など
小野上小学校	レクリエーションツール など
中郷小学校	オリジナルTシャツ など
長尾小学校	サッカー用品 など
三原田小学校	サッカーボール など
津久田小学校	逆上がり補助板 など
橘小学校	シューズボックス など
橘北小学校	タッチペン など

※各学校の主な備品(今後購入を含む)を記載しています

伊香保小学校

人工知能(A I)を用いて言語を自動翻訳するA I 通訳機を購入しました。

担任をはじめ、日本語指導教員などが、外国籍児童やその保護者と、より密度のあるコミュニケーションをとるために活用しています。



金島中学校

ビデオカメラと三脚を購入しました。

部活動では、生徒のフォームのチェックなどに利用し、競技力向上の一助として活用しています。また、課外活動では、生徒の主体的な記録ツールとして活用しています。

